

北斗通信

(令和7年9月号)

1. 埼玉県 令和7年度 学校基本調査から	1
資料① 埼玉県公立小学校6年生の転出率	8
2. 埼玉県 令和7年3月中学校卒業生の進路状況調査から	2
資料② 令和7年3月中学卒業生の進路状況調査	10
3. 埼玉県 令和7年4月 高等学校卒業生の進路状況	4
資料③ 埼玉県 令和7年4月高等学校卒業生の進路	12
4. 埼玉県 令和7年4月高等学校入学状況調査から	4
資料④ 令和7年4月高等学校入学状況	14
5. 東京都 公私連絡協議会開催	5
資料⑤ 東京都 令和8年度の就学計画	15
6. その他の話題	6
・ 令和8年度伊奈学園中学の入試要項発表	6
・ 千葉県 公立入試募集定員発表	6

会員限定情報「北斗通信」

令和7年9月12日

岩佐教育研究所

TEL048-688-4698

FAX048-675-0219

E-mail shohokuto@gol.com

無断転載を禁じます。

1. 埼玉県 令和7年度学校基本調査から 資料① 埼玉県公立小学校卒業生の転出率

埼玉県教育局総務課は、8月29日に「学校基本調査の概要」並びに、県内小・中学校の5月1日現在の在籍状況を公表した。

(分析1 埼玉県公立中学3年生在籍の変化)

本年度の公立中学3年生の在籍は、令和6年度の58,522人より552人減少し57,970人となっている。また、今後の生徒在籍の減少は令和8年度▲1,957人、9年度▲322人となっており、再度の減少期にはいつている。

なお、県内私立中学校の卒業予定者は6年度の3,149人から7年度は3,256人とやや増加していた。年間の流入生は、2年生116人、3年生56人となっており、やや、埼玉の社会増は落ち着いてきたようだ。

埼玉県の中学生3年生は国・公・私立の合計で6万1374人と発表されています。埼大附属(148人)、私立3,256人、公立5万8522人の合計となっています。国・公・私の子数総計では、前年から552人の減少となります。しかし、令和8年度入試は、公立で400人の募集減となりますので、倍率は、前年並みになると見られます。

(分析2 埼玉県小学6年からの転出状況)

埼玉県では、例年公立小学校6年生から公立中学1年生になる際、一定の在籍の減少が発生している。

純粋な転出もあるが、埼玉では、ほぼ同数の社会増があるため、この在籍の減少は、国・私立中学への転出生と見做せる。

埼玉県としては、小学校から国・私立中への進学は、発表していない。

令和7年春では、伊奈学園中学校を含め3,945人の在籍減少(転出)が見られた。

6年度3,927人、5年度3,848人、4年度3,843人、3年度3,901人、2年度3,815人、

元年度 3,761 人, 31 年度 3,859 人, 30 年度 3520 人, 29 年度 3,580 人, 28 年度 3,634 人, 27 年度 3,334 人, 26 年度 3,869 人, 25 年度 4,020 人, 24 年度 4,197 人と平成 13 年から7年連続で増加した後, 8年連続で減少, その後増減を繰り返している。但し, 大

宮国際中等教育学校や川口市立附属中学校は市立のため転出には含まれない。

在籍の減少の影響も大きい, 2024 年の開智所沢の開校などで, 埼玉の中学入試戦線は, やや増加になってきたようだ。今後の急速な少子化の影響が懸念される。

令和 7 年状況(公立一貫 240 人を含む)

① さいたま市 1,074 ②川口 440 ③所沢 248
④越谷 218 ⑤川越 146 ⑥三郷 138 ⑦戸田 137
⑧草加 118 ⑨新座 117 ⑩朝霞 108
⑪和光 95 ⑫上尾 89 ⑬志木 80 ⑭入間 72

令和 6 年状況(公立一貫 240 人を含む)

① さいたま市 1,090 ②川口 433 ③所沢 270
④越谷 172 ⑤戸田 140 ⑥朝霞 131 ⑦川越 128
⑧三郷 121 ⑨上尾 115 ⑩草加 110
⑪新座 106 ⑫和光 80 ⑬志木 76

どとなっている。

全県の平均は 7.1%と, 0.5%上昇した。
(6 年度 6.6%, 5 年度, 6.3%, 4 年度 6.3%,
3 年度 6.1%, 2 年度 5.7%, 31 年度 6.0%,
30 年度 5.8%, 29 年度 6.2%, 28 年度 5.7%)

また, 市町村別の在籍比率で集計すると

① 和光 15.7% ②日高 15.5% ③志木 13.6%
④三郷 12.6% ⑤戸田 10.9% ⑥蕨 10.7%
⑦所沢 10.5% ⑧さいたま市 10.4% ⑨川口 9.9%
⑩長瀨 9.8% ⑪三芳 9.6% ⑫朝霞 9.2%
⑬新座 8.6%

在籍比率では, 全市で義務教育学校計画が進行している日高市が連続年での上位進出で驚かされる。

義務教育学校が必ずしも保護者からの信頼を受けていないということかもしれない。

入学者は公立に含まれるため, 減少は, 不合格者が県内外私立に流れたと予想される。

埼玉県内で, 転出者(私立中学への入学者)は, 前年から急速に増加しました。
令和 7 年度入試での県内私立中学校入学生は, 開智中等教育学校を含めて, 前年度より 94 人増の 3,839 人となっていました。うち県内生が約 2,020 人, 県外生が約 1,530 人, 内部進学が 210 人と推定されます。
また, 転出者のうち約 1,900 人が東京及び隣接県への進学者と考えられます。県内に留まる生徒は, 約 2,020 人と増加しています。

2. 埼玉県 令和7年4月中学卒業生の進路状況

資料② 埼玉県 令和7年4月中学卒業生の進路状況(速報)

埼玉県教育局は, 8 月 26 日に令和 7 年 3 月に埼玉県内公・私・国立中学校を卒業した 61,836 人(前年度 62,094 人)の進路状況を発表した。在籍は, 昨年が 53 人増加, 今春は 258 人減少している。

高等学校等への進学率は, 前年より 0.1% 上昇し 98.9%, 高等学校へは 97.6%となり, 全日制 88.1%, 定時制 1.7%, 通信制 7.8% で, 全日制が -0.3% (△433 人), 定時制課

程が-0.1%(△80人)となり、通信制課程は、+0.6%(+340人)となっていた。

高等学校等には、高等専門学校と特別支援学校を含めた進学率であり、高等学校への進学率は、97.6%で、過去最高だった一昨年より△0.2%と減少していた。

全日制の進路内訳では、県内への進学者が卒業生総数の80.8%(前年81.0%、一昨年82.2%)の49,934人と連続年で減少していた。実数では前年より346人減少となっていた。うち県内公立が737人減少し33,225人、県内私学が400人増加し、16,584人となっている。

また、国公立を含む県外進学者は120人減少し4,532人となっていた。うち県外私立には4,223人(45人減少)進学している。

在籍が258人減少した中で、私立高校の入学者は(県内400人増、県外45人減)は、県外からの県内私立入学生の増加、大学入

試改革の影響などが志望校選択に大きな影響を与えていたようだ。

また、県内私学の中で、定員超過が続いたことから、入学者を絞ったケースも見られる。

尚、県内私立中学の卒業生は、3,122人で前年より158人減少していた。

県内公立高校全日制進学者は33,225人、全日制進学者の卒業生に対する割合は88.1%、全日制進学者の県内公立の占める割合は、61.0%となり、前年の61.9%から0.9%減少していた。

東京都には3,215人で54人減少、千葉県は251人で31人減少、栃木県は217人で、4人減少、群馬県は178人で30人増加などとなっている。

進学者の変化については、公立高校、私学とも進学者が減少していた。

進学率は、過去最高率だった4年3月の99.1%から連続年で0.1%しましたが、今春は0.1%上昇しました。

7年度入試では、中学卒業生の500人余りの減少に対して、公立は400人の定員を減少しています。7年度の実質で、65対35の公私間比率は、61.0対30.4となっていました。

60対30 県外10の比率に近づいてきました。

令和6年度 埼玉県内中学卒業生の県外への進学状況 指数は平成元年を100としたとき

年度	卒業生数	進学率	東京	千葉	群馬	茨城	栃木	その他	合計
元.3	115,584	92.6	12,097	869	571	171	1,493	348	15,549
22.3	67,783	98.2	4,479	280	123	33	336	266	5,517
23.3	64,231	98.4	3,969	285	103	31	273	270	4,931
24.3	66,325	98.6	4,020	324	125	39	336	309	5,153
25.3	65,936	98.6	3,789	313	126	49	305	359	4,941
26.3	65,774	98.6	3,830	300	128	59	310	371	4,998
27.3	65,547	98.9	3,775	337	186	47	298	406	5,049
28.3	65,474	99.0	3,714	277	149	63	297	320	4,878
29.3	65,634	99.1	3,678	298	184	60	329	346	4,968
30.3	64,508	99.0	3,820	276	161	55	298	413	5,023
31.3	63,542	99.1	3,708	295	197	56	315	513	5,084
2.3	62,542	99.1	3,833	296	240	98	263	454	5,184
3.3	61,174	99.1	3,557	275	218	78	279	510	4,917
4.3	62,760	99.1	3,715	273	186	84	238	505	5,001
5.3	62,813	99.0	3,450	307	201	73	208	500	4,739
6.3	62,094	98.8	3,269	282	148	93	221	606	4,619
7.3	61,836	98.9	3,215	251	178	69	217	602	4,532
指数	53.7		26.6	28.9	31.2	40.4	14.6	173.0	29.1

平成元年から今春までで、在籍の減少は52～54%前後となっていました。隣接県への進学者は在籍減以上の減少幅となっています。令和7年度入試では、前年からの在籍の減少が258人、県内公立への入学者が737人減少し、県内私学が400人の増加となっていました。令和8年度入試では、卒業予定者は、約510人減少します。大学入試改革9期生であり、高校の学習指導要領改訂の完成4年目の受験ということ、さらに、私立高校の支援金の充実、公立高校の募集人員の減少などで全体動向の更なる変化が予想されます。

都内を含む県外受験者は、第一志望の生徒が多かったと見られますが、観点別評価の観点の変更で、評定自体が甘めになってきたことで、8年度入試も学力に自信のない生徒が調査書評定を基に私学単願に切り替えていくことが予想されます。

3. 埼玉県 令和7年4月高等学校卒業生の進路状況

資料③ 埼玉県 令和7年4月高等学校卒業生の進路状況(速報)

埼玉県教育局は、8月26日、今春の県内公立・国立の高等学校卒業生の進路状況(速報)を発表した。卒業生総数は51,118人で、前年より575人増加した。

大学・短大等への現役進学率は、前年度より1.0%増加し66.9%となった、大学への進学率も62.9%から64.4%へ1.5%上昇した。これで7年連続の上昇となった。

高等学校(全日制)卒業生の大学等進学状況

区 分	令和7年3月	
	人数	構成比
大学等進学者数	35,712人	100.0%
現役(現年度卒)	34,194人	95.7%
大学(学部)	32,896人	92.1%
短期大学(本科)	1,139人	3.2%
その他(通信・別科等)	159人	0.4%
一浪	1,355人	3.8%
大学(学部)	1,353人	3.8%
短期大学(本科)	2人	0.0%
二浪以上	163人	0.5%
大学(学部)	162人	0.5%
短期大学(本科)	1人	0.0%

全日制課程卒業生は、49,684人で前年より1,832人減少し、現役での大学等進学率は、前年の65.5%から、66.7%となっていた。

専修学校・専門課程が8,114人、就職が4,628人となっていた。

専修学校・一般課程等が1,592人で80人増加となっていたが、ここに予備校に通う進学準備者が入っている。

公立高校の全日制での進学率は、前年より1.5%上昇し58.4%となり、私立高校が前年の83.0%から82.7%に下降した。

また、過年度卒業を含めた大学等への進学状況では、浪人(1浪1,355人、2浪以上163人)を加えた進学者の在籍に対する割合(在籍比率)では、69.9%となっていた。(全日制合計70.8%、公立全日制62.4%、私立86.6%)

現役全日制の大学と短大、通信制の比率は96.2%:3.3%:0.4%と、短大への比率が低下が目立つ。

定時制を加えた県計での就職者は、4,960人、就職率は9.7%で前年より0.1%下降しており、新型コロナウイルスの感染の影響が緩和したと考えられる。この影響が、進学率の上昇は、進学に対する民間意識の向上と考えられる。

県合計(全日制)の男女別・現役の大学・短大への進学状況では、男子が卒業生の67.2%、女子68.2%で過年度卒を加えた在籍比率では、男子72.4%(前年72.2%)、女子が69.1%(前年68.3%)となっており、現役進学率の割合が上昇していたことが分かる。

全国の大学等への現役進学率は、5年度(6年3月卒)では全国平均61.9% (4年度60.8%, 3年度59.5%, 2年度57.4%, 元年度55.8%, 31年度54.7%, 30年度54.7%, 29年度54.7%, 28年54.9%, 27年54.6%, 26年53.9%)で、4年度では、埼玉県は6位で、全国平均より6.2%上回っていた。(1位は東京都の74.2%)

5年度から、定員の減各科が緩和され、単学年ではなく4年間の学則総定員をベースにすると改められています。各大学では、退学者や転学者を含めての実募集の設定になっています。

また、少子化の中で各大学では、安定した定員確保のために、学校推薦型選抜での人数確保が大幅に上昇したようです。また、受験生の安全志向が膨らみ、大学共通テストの受験生が減少しています。高校生の安全志向が安易な大学選択に繋がらなければいいのですが…。

4. 埼玉県 令和7年4月 高等学校の入学状況調査から

資料④ 令和7年4月高等学校入学状況調査

埼玉県の公私間協定比率である65:35は、「国・公・私立中学校卒業予定者の88%の全日制進学希望者の65パーセントを公立高校で収容する」というものだ。

県内私立の募集定員は約17,500人で、うち内部進学者約2,800人、他都県からの流入が約1,800人のため、実質の募集人員は、約12,900人、これは、全日制進学者の24%前後のため、残る11%が隣接都県の私学の収容に依存した比率ということになる。

しかし、流入・流出状況を見ると、平成元年以降は、在籍の減少以上に、県外私立に通う生徒数が減少していた。ただ、最近数年は、やや増加傾向にあるようだ。

理由として考えられることに、①大学入試改革の影響 ②県内私立の評価の上昇 ③私学進学者に対する助成金の増などが挙げられる。大学付属校への希望者は増加しているようだ。来春に就学支援金が増額されれば、志願動向は、これまでと異なることが予想されよう。

令和7年度入試 県外生の埼玉(全日制)への流入 単位 人

都県	国立へ			公立へ			私立へ		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
東京	3	4	7	18	15	33	689	248	937
千葉	1	0	1	74	51	125	112	78	190
群馬	0	0	0	33	91	124	118	114	232
栃木	0	0	0	1	13	14	38	28	66
茨城	0	0	0	44	53	97	51	35	86
その他	2	0	2	21	22	43	175	82	259
合計	6	4	10	191	245	436	1183	585	1768

5. 東京都 公私連絡協議会の合意事項から

資料⑤ 東京都 令和8年度就学計画

東京都教育庁と東京都私立中学高等学校協会は、9月11日、都立高校と私立高校の生徒収容に関する令和8年度入試へ向けての高等学校就学計画について合意した。

第六次中期計画とは、令和6年度から令和11年度までの期間の都内生の公私分担の比率を確定するもので、

- (1) 就学計画を立てる上での進学率は93.0%を基本とする。なお、実績進学率の向上に向けて、必要に応じ協議する。
- (2) 公私分担は、現行分担率都立59.6:私立40.4を基点分担割合としつつ、令和6年度から令和11年度までの各年度就学計画では、公私協調により、実績進学率の向上を図るよう、公私分担も必要に応じ協議するとされているもの。

尚、公私の分担率は、令和4年度からの計画の中で取り決めた94%を、6年度入試から、生徒の進路選択の多様化に対応し93%に変更している。

8年度では、在籍の減少(7年度より237人減少した77,572人)があり、私立分担数は、27,700人と100人減少した。尚、都立受け入れ分は40,800人から40,700人と100人減少している。

6. その他の話題

埼玉県 伊奈学園中学校 令和8年度入試要項発表

伊奈学園中学校は、8月29日にホームページでの令和8年度入試実施要項を発表した。

令和8年度入試で第24回目の入試選抜となる。伊奈学園では、24年度入試までは、抽選によって160人に絞る方式を採用していたが、中高一貫検証会議の報告で「受験機会を与えないのは不公平」という提言を受けて、25年度入試から、抽選方式を止め、全員に課題作文を受検させ、その結果と調査書で第一次選考を実施、第二次選考は面接で行うように変更されている。24年度では、950人5.9倍と抽選の高倍率が続いていた。

全員に作文による適性検査を実施した25年度入試では、受験生は704人に減少、一次合格者は、227人だった。新方式14年目の令和7年度入試では、出願数376人、受験生372人、一次合格者169人に減少した。

テスト方式から、理系・文系の課題作文方式に変わったわけだが、これによって、自信のない層が回避したこと、抽選の場合、当選した生徒のみ調査書が必要になるが、受験の場合、当初に調査書が必要になるなどの減少要因が考えられる。

伊奈学園中学校の令和6年度入試の概要・日程

令和7年	12月5日(金)～19日(金)	出願入力期間(インターネットを活用した出願)
	12月24日(水)～26日(金)	出願書類等の提出期間
令和8年	1月10日(土)	第一次選考(作文)
	1月15日(木)	第一次選考結果通知書の交付
	1月17日(土)	第二次選考(面接)
	1月22日(木)	第二次選考結果通知書の交付
	2月2日(月)、2月3日(火)	入学手続に関する確認書の提出期間

千葉県 公立高校入試 募集定員発表

千葉県では、8月20日に令和8年度公立高校の募集定員が発表された。

令和8年3月の国・公・私立中学校の卒業予

定者は、約51,900人で前年度と比較して約420人減少する見込みとなる(教育庁発表)。

公立高校・全日制の募集人員は21学級840

人減少し29,880人となる。在籍減より大きな募集減について、県は通信制への進学者の増加と、就学支援金の拡大により公立離れが進むという見込みを立てているようだ。

内訳としては、県立で21校で1学級40人の減、市立は変更なかった。

定員減 千葉工業・電子機械, 千城台, 八千代

東、八千代西, 千葉北, 船橋豊富, 船橋古和, 船橋法典, 船橋北, 行徳, 松戸向陽, 鎌ヶ谷西, 沼南, 沼南高柳, 野田中央, 関宿, 佐倉東, 銚子商業・商業, 九十九里

※学科ナシは普通科

定時制課程では、船橋が1学級の減となった。通信制課程の変更は無い。

閑話休題

埼玉の私学で募集のある中高一貫教育実施校は30校と開智中等教育学校が加わり31校、令和7年度入試で募集人員は、総計で約3,750人となります。7年度入試での私学の充足は、89%で、定員を充足したのは、14校となっていました。県内の学校基本調査には、小学校卒業生の進路調査はありません(少なくとも公表はされていません)。弊社では、全体像を捉えるために、公立小学校6年生の在籍と、翌年の中学1年生の在籍の差を調べています。いわゆる転出率調査ですが、転出先が、国立か、私立かについては類推するしかありません。

最近10年間の転出率では、平成19年3月の7.5%、およそ5,200人をピークとして、その後少しずつ減少しています。一方、今春の県外からの私立中学校への入学数は、約1,500人と推計されます。

県内から県内が約2,020人、調査での公立小学校からの転出数が約3,945人、伊奈学園が80人ですので、1,660人あまりが県外中学校への進学者と思われます。

就学支援金の45万7千円への増額については、未だに決定との公表はありません。しかし、9月7日の朝日新聞では、「制度の予算額は決まっていないが、文部科学省の試算ではおよそ8千億円と見積もる」として、所得制限の撤廃と併せて既成事実との認識を示しています。

高校入試では、東京から埼玉の私立には、937人が入学していました。一方で、埼玉から東京の私学へ進学している生徒は、1,368人となっています。就学支援金の増額での志願者の動向の変化が注目されます。

令和7年4月埼玉県小学校6年生の転出率

市町村	学校数	生徒数	中1	中2	中3	前年中3	前年小6	転出数	転出率
県計	407	169,714	55,711	56,033	57,970	58,522	59,656	3,945	7.08
和光市	3	1,895	606	647	642	644	701	95	15.68
日高市	3	1,014	317	351	346	401	366	49	15.46
志木市	4	1,802	587	602	613	604	667	80	13.63
三郷市	8	3,256	1,096	1,053	1,107	1,089	1,234	138	12.59
戸田市	6	3,696	1,261	1,149	1,286	1,252	1,398	137	10.86
蕨市	3	1,451	487	477	487	482	539	52	10.68
所沢市	15	7,356	2,356	2,501	2,499	2,537	2,604	248	10.53
さいたま市	58	31,401	10,369	10,384	10,648	10,700	11,443	1,074	10.36
川口市	27	13,538	4,441	4,503	4,594	4,687	4,881	440	9.91
長瀬町	1	137	41	47	49	52	45	4	9.76
三芳町	3	946	291	316	339	350	319	28	9.62
朝霞市	5	3,453	1,178	1,117	1,158	1,101	1,286	108	9.17
新座市	6	4,153	1,354	1,397	1,402	1,404	1,471	117	8.64
神川町	1	282	93	88	101	103	101	8	8.60
宮代町	3	725	238	247	240	240	258	20	8.40
越谷市	15	8,293	2,753	2,726	2,814	2,862	2,971	218	7.92
白岡市	4	1,249	431	418	400	425	464	33	7.66
入間市	10	3,302	1,083	1,061	1,158	1,098	1,155	72	6.65
富士見市	6	2,711	936	873	902	881	996	60	6.41
草加市	11	5,563	1,875	1,807	1,881	1,949	1,993	118	6.29
飯能市	7	1,658	516	530	612	597	548	32	6.20
本庄市	4	1,817	576	605	636	580	607	31	5.38
八潮市	5	2,058	689	660	709	675	726	37	5.37
吉川市	4	2,010	676	650	684	699	712	36	5.33
上尾市	11	5,218	1,689	1,737	1,792	1,848	1,778	89	5.27
川越市	22	8,610	2,849	2,804	2,957	2,949	2,995	146	5.12
小川町	2	484	138	166	180	189	145	7	5.07
伊奈町	3	1,239	415	408	416	535	436	21	5.06
久喜市	10	3,316	1,092	1,078	1,146	1,174	1,145	53	4.85
ふじみ野市	6	2,938	1,002	968	968	1,006	1,050	48	4.79
寄居町	3	648	198	216	234	204	207	9	4.55
幸手市	3	1,081	331	344	406	401	346	15	4.53
上里町	2	730	224	242	264	269	234	10	4.46
加須市	8	2,656	799	892	965	901	833	34	4.26
毛呂山町	2	606	190	204	212	252	198	8	4.21
秩父市	8	1,331	456	430	445	490	474	18	3.95
嵐山町	2	330	103	113	114	126	107	4	3.88
横瀬町	1	172	52	60	60	57	54	2	3.85

坂戸市	7	2,457	797	831	829	854	826	29	3.64
美里町	1	248	83	91	74	87	86	3	3.61
熊谷市	17	4,324	1,394	1,412	1,518	1,525	1,444	50	3.59
行田市	8	1,729	538	630	561	573	557	19	3.53
小鹿野町	1	226	58	82	86	86	60	2	3.45
北本市	4	1,312	445	429	438	452	460	15	3.37
鶴ヶ島市	5	1,497	478	481	538	543	494	16	3.35
桶川市	4	1,748	588	596	564	592	607	19	3.23
杉戸町	2	960	324	306	330	377	334	10	3.09
春日部市	11	5,033	1,575	1,666	1,792	1,739	1,623	48	3.05
滑川町	1	586	197	203	186	206	203	6	3.05
深谷市	10	3,432	1,154	1,153	1,125	1,216	1,189	35	3.03
越生町	1	216	74	73	69	71	76	2	2.70
羽生市	3	1,178	382	382	414	408	392	10	2.62
鴻巣市	8	2,672	875	881	916	884	897	22	2.51
狭山市	8	3,208	1,045	1,041	1,122	1,064	1,071	26	2.49
蓮田市	5	1,345	475	421	449	470	485	10	2.11
吉見町	1	328	106	111	111	116	108	2	1.89
ときがわ町	2	204	59	74	71	66	60	1	1.69
東松山市	5	2,154	697	731	726	745	705	8	1.15
川島町	2	374	124	115	135	138	124	-	0.00
鳩山町	1	202	69	61	72	63	69	-	0.00
東秩父村	1	37	13	5	19	11	13	-	0.00
松伏町	2	669	231	231	207	258	227	-4	-1.73
皆野町	1	211	62	76	73	85	59	-3	-4.84

令和7年3月中学校等卒業者の進路状況調査（速報）の概要

I 中学校卒業生

- ① 中学校卒業生総数は61,836人で、前年度より258人減少しました。
- ② 高等学校等への進学者数は61,178人で、前年度より147人減少しました。
うち、全日制課程への進学者は54,466人で、前年度より433人減少、
定時制課程への進学者は1,037人で、前年度より80人減少、
通信制課程への進学者は4,827人で、前年度より340人増加しました。
- ③ 高等学校等への進学率は98.9%で、前年度より0.1ポイント上昇しました。
うち、全日制高校への進学率は88.1%で、前年度より0.3ポイント低下、
定時制高校への進学率は1.7%で、前年度より0.1ポイント低下、
通信制高校への進学率は7.8%で、前年度より0.6ポイント上昇
しました。

第1 中学校卒業者の進路状況概況

区 分	令和7年3月		令和6年3月		対前年度増減	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
中学校卒業生総数	61,836人	100.0%	62,094人	100.0%	△258人	—
高等学校等進学者	61,178人	98.9%	61,325人	98.8%	△147人	0.1P
高等学校	60,330人	97.6%	60,503人	97.4%	△173人	0.2P
全日制課程	54,466人	88.1%	54,899人	88.4%	△433人	△0.3P
県内	49,934人	80.8%	50,280人	81.0%	△346人	△0.2P
国立	125人	0.2%	134人	0.2%	△9人	0.0P
公立	33,225人	53.7%	33,962人	54.7%	△737人	△1.0P
私立	16,584人	26.8%	16,184人	26.1%	400人	0.7P
県外	4,532人	7.3%	4,619人	7.4%	△87人	△0.1P
定時制課程	1,037人	1.7%	1,117人	1.8%	△80人	△0.1P
通信制課程	4,827人	7.8%	4,487人	7.2%	340人	0.6P
高等専門学校等	153人	0.2%	139人	0.2%	14人	0.0P
特別支援学校高等部	695人	1.1%	683人	1.1%	12人	0.0P
専修学校等進学・入学者	113人	0.2%	128人	0.2%	△15人	0.0P
就職者等	76人	0.1%	90人	0.1%	△14人	0.0P
その他の者	467人	0.8%	547人	0.9%	△80人	△0.1P
不詳・死亡	2人	0.0%	4人	0.0%	△2人	0.0P

※ 夜間その他特別な時間において授業を行う学校（いわゆる夜間中学）を卒業した者は含まない。

第2 中学校卒業者のうち高等学校進学者の進路状況概況

区 分	令和7年3月		令和6年3月		対前年度増減	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
中学校卒業者総数	61,836 人	100.0 %	62,094 人	100.0 %	△258 人	—
高等学校進学者	60,330 人	97.6 %	60,503 人	97.4 %	△173 人	0.2P
全日制課程	54,466 人	88.1 %	54,899 人	88.4 %	△433 人	△ 0.3P
県内	49,934 人	80.8 %	50,280 人	81.0 %	△346 人	△ 0.2P
国立	125 人	0.2 %	134 人	0.2 %	△9 人	0.0P
公立	33,225 人	53.7 %	33,962 人	54.7 %	△737 人	△ 1.0P
私立	16,584 人	26.8 %	16,184 人	26.1 %	400 人	0.7P
県外	4,532 人	7.3 %	4,619 人	7.4 %	△87 人	△ 0.1P
国立	66 人	0.1 %	71 人	0.1 %	△5 人	0.0P
公立	286 人	0.5 %	325 人	0.5 %	△39 人	0.0P
私立	4,180 人	6.8 %	4,223 人	6.8 %	△43 人	0.0P
定時制課程	1,037 人	1.7 %	1,117 人	1.8 %	△80 人	△ 0.1P
県内	980 人	1.6 %	1,086 人	1.7 %	△106 人	△ 0.1P
公立	980 人	1.6 %	1,086 人	1.7 %	△106 人	△ 0.1P
県外	57 人	0.1 %	31 人	0.0 %	26 人	0.1P
公立	18 人	0.0 %	19 人	0.0 %	△1 人	0.0P
私立	39 人	0.1 %	12 人	0.0 %	27 人	0.1P
通信制課程	4,827 人	7.8 %	4,487 人	7.2 %	340 人	0.6P
県内	1,304 人	2.1 %	1,233 人	2.0 %	71 人	0.1P
公立	373 人	0.6 %	336 人	0.5 %	37 人	0.1P
私立	931 人	1.5 %	897 人	1.4 %	34 人	0.1P
県外	3,523 人	5.7 %	3,254 人	5.2 %	269 人	0.5P
公立	15 人	0.0 %	19 人	0.0 %	△4 人	0.0P
私立	3,508 人	5.7 %	3,235 人	5.2 %	273 人	0.5P

※ 夜間その他特別な時間において授業を行う学校（いわゆる夜間中学）を卒業した者は含まない。

令和7年3月高等学校等卒業者の進路状況調査（速報）

I 全日制・定時制課程卒業者

第1 進路状況の概況

- ① 高等学校卒業生総数は51,118人で、前年度より575人増加しました。
- ② 大学等進学率は66.9%で、前年度より1.0ポイント上昇し、調査開始以来最高値となりました。
うち、大学（学部）進学率は64.4%で、前年度より1.5ポイント上昇した一方、短期大学（本科）進学率は2.2%で、前年度より0.5ポイント低下しました。
- ③ 卒業生数に占める就職者総数の割合は9.4%で、前年度より0.1ポイント低下し、調査開始以来最低値となりました。

○高等学校卒業者の進路概況（全日制・定時制）

区 分	令和7年3月		(参考)令和6年3月		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
県内高等学校卒業生総数	51,118人	100.0%	50,543人	100.0%	575人	—
大学等進学者	34,194人	66.9%	33,303人	65.9%	891人	1.0P
大学(学部)	32,896人	64.4%	31,792人	62.9%	1,104人	1.5P
短期大学(本科)	1,139人	2.2%	1,388人	2.7%	△249人	△0.5P
その他(通信・別科等)	159人	0.3%	123人	0.2%	36人	0.1P
専修学校等進学・入学者	9,530人	18.6%	9,919人	19.6%	△389人	△1.0P
就職者等(就職等のみ)	4,960人	9.7%	4,976人	9.8%	△16人	△0.1P
自営業主等	113人	0.2%	139人	0.3%	△26人	△0.1P
無期雇用労働者	4,654人	9.1%	4,576人	9.1%	78人	0.0P
有期雇用労働者	106人	0.2%	172人	0.3%	△66人	△0.1P
うち雇用期間1年以上かつフルタイム相当	14人	0.0%	94人	0.2%	△80人	△0.2P
臨時労働者	87人	0.2%	89人	0.2%	△2人	0.0P
その他の者	2,434人	4.8%	2,341人	4.6%	93人	0.2P
不詳・死亡	0人	0.0%	4人	0.0%	△4人	0.0P
再掲						
進学準備中の者	3,157人	6.2%	2,837人	5.6%	320人	0.6P
進学・入学かつ就職した者(*1)	13人	0.0%	4人	0.0%	9人	0.0P
就職者総数(*2)	4,794人	9.4%	4,813人	9.5%	△19人	△0.1P

*1 「進学・入学かつ就職した者」は「大学等進学者」及び「専修学校等進学・入学者」のうち、併せて就職した者。

*2 「就職者総数」は、「就職者等」のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」及び「有期雇用労働者」の内数である「うち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者」と「進学・入学かつ就職した者」の合計。

第2 過年度の卒業者を含めた大学等への進学状況

大学等への進学者は 35,712 人で、前年度より 789 人増加しました。
現役進学者の割合は 95.7%で、前年度より 0.3 ポイント上昇しました。

○過年度卒業者を含めた大学等進学状況

区 分	令和7年3月		(参考)令和6年3月		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大学等進学者数	35,712 人	100.0 %	34,923 人	100.0 %	789 人	—
現役(現年度卒)	34,194 人	95.7 %	33,303 人	95.4 %	891 人	0.3P
大学(学部)	32,896 人	92.1 %	31,792 人	91.0 %	1,104 人	1.1P
短期大学(本科)	1,139 人	3.2 %	1,388 人	4.0 %	△249 人	△ 0.8P
その他(通信・別科等)	159 人	0.4 %	123 人	0.4 %	36 人	0.0P
一 浪	1,355 人	3.8 %	1,468 人	4.2 %	△113 人	△ 0.4P
大学(学部)	1,353 人	3.8 %	1,466 人	4.2 %	△113 人	△ 0.4P
短期大学(本科)	2 人	0.0 %	2 人	0.0 %	0 人	0.0P
二浪以上	163 人	0.5 %	152 人	0.4 %	11 人	0.1P
大学(学部)	162 人	0.5 %	152 人	0.4 %	10 人	0.1P
短期大学(本科)	1 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0P

令和7年4月高等学校入学状況調査（速報）の概要

I 全日制・定時制課程

入学者のうち、県内中学校等の卒業者は51,095人で全体の95.5%です。
また、県外中学校等の卒業者は2,249人で全体の4.2%を占めています。

○卒業中学校等別入学状況

区 分	令和7年4月		令和6年4月		対前年度増減	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全日制・定時制課程入学者総数	53,477 人	100.0 %	53,901 人	100.0 %	△424 人	—
県内中学校等卒業者	51,095 人	95.5 %	51,515 人	95.6 %	△420 人	△ 0.1P
国立	102 人	0.2 %	92 人	0.2 %	10 人	0.0P
公立	48,036 人	89.8 %	48,467 人	89.9 %	△431 人	△ 0.1P
私立	2,957 人	5.5 %	2,956 人	5.5 %	1 人	0.0P
県外中学校等卒業者	2,249 人	4.2 %	2,247 人	4.2 %	2 人	0.0P
その他	133 人	0.2 %	139 人	0.3 %	△6 人	△ 0.1P

※ 「中学校等卒業者」には、義務教育学校卒業者、中等教育学校前期課程修了者及び特別支援学校中学部の卒業者を含みます。
「その他」とは、海外日本人学校の卒業者及び高等学校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者等を指します。

全日制・定時制課程の入学者総数は53,477人で前年度より424人減少しました。
全日制課程の入学者は52,365人で全体の97.9%、定時制課程の入学者は1,112人で全体の2.1%を占めています。

○課程・設置者別入学状況

区 分	令和7年4月		令和6年4月		対前年度増減	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全日制・定時制課程入学者総数	53,477 人	100.0 %	53,901 人	100.0 %	△424 人	—
高等学校(全日制課程)	52,365 人	97.9 %	52,698 人	97.8 %	△333 人	0.1P
国立	138 人	0.3 %	159 人	0.3 %	△21 人	0.0P
公立	33,758 人	63.1 %	34,535 人	64.1 %	△777 人	△ 1.0P
私立	18,469 人	34.5 %	18,004 人	33.4 %	465 人	1.1P
公立高等学校(定時制課程)	1,112 人	2.1 %	1,203 人	2.2 %	△91 人	△ 0.1P

令和8年度高等学校就学計画

区 分		年 度		増△減
		令和8年度	令和7年度	
都 内 公 立 中 学 校	卒業予定者 A	人 77,572	人 77,809	人 ▲237
	計画進学率 B	% 93.0	% 93.0	% 0.0
	進学者 C (A×B)	人 72,200	人 72,400	人 ▲200
国立・他県高校 ・高等専門学校 への進学者 D		人 3,800	人 3,800	人 0
都内公私立高校 受入分 (C-D) E		人 68,400	人 68,600	人 ▲200
内 訳	都内私立高校 受入分 (40.4%) F	人 27,700	人 27,800	人 ▲100
	都立高校受入分 G (59.6%)	人 40,700	人 40,800	人 ▲100

※ 平成27年度以降、A欄に、都内公立中高一貫教育校在籍生徒を含めない。